

不登校対策サポーターの配置について

1 配置目的

平成26年度の問題行動調査の結果、本市における不登校児童生徒数は748人となり、過去最多となった。

不登校対策については、未然防止と早期対応に重点的に取り組んできたが一向に減少傾向に転じない状況にある。

そこで不登校に課題のある中学校を拠点校として「不登校対策サポーター」を配置し、校区内の小学校も含め、取り組み等について指導・助言等を行い、不登校児童生徒数の減少を目指す。

2 業務内容

- ・ 不登校児童生徒の実態把握
- ・ 学校組織としての不登校の未然防止や早期対応について、現状を把握し、指導・助言を行う。
- ・ 学校の不登校対策委員会に参加し、指導・助言を行う。
- ・ 必要に応じて担任等と連携して、家庭訪問等行うなど不登校児童生徒や家庭と関わりをもち、不登校児童生徒の改善を行う。

3 拠点校の選定

不登校に課題ある中学校の中から拠点校を決定する。